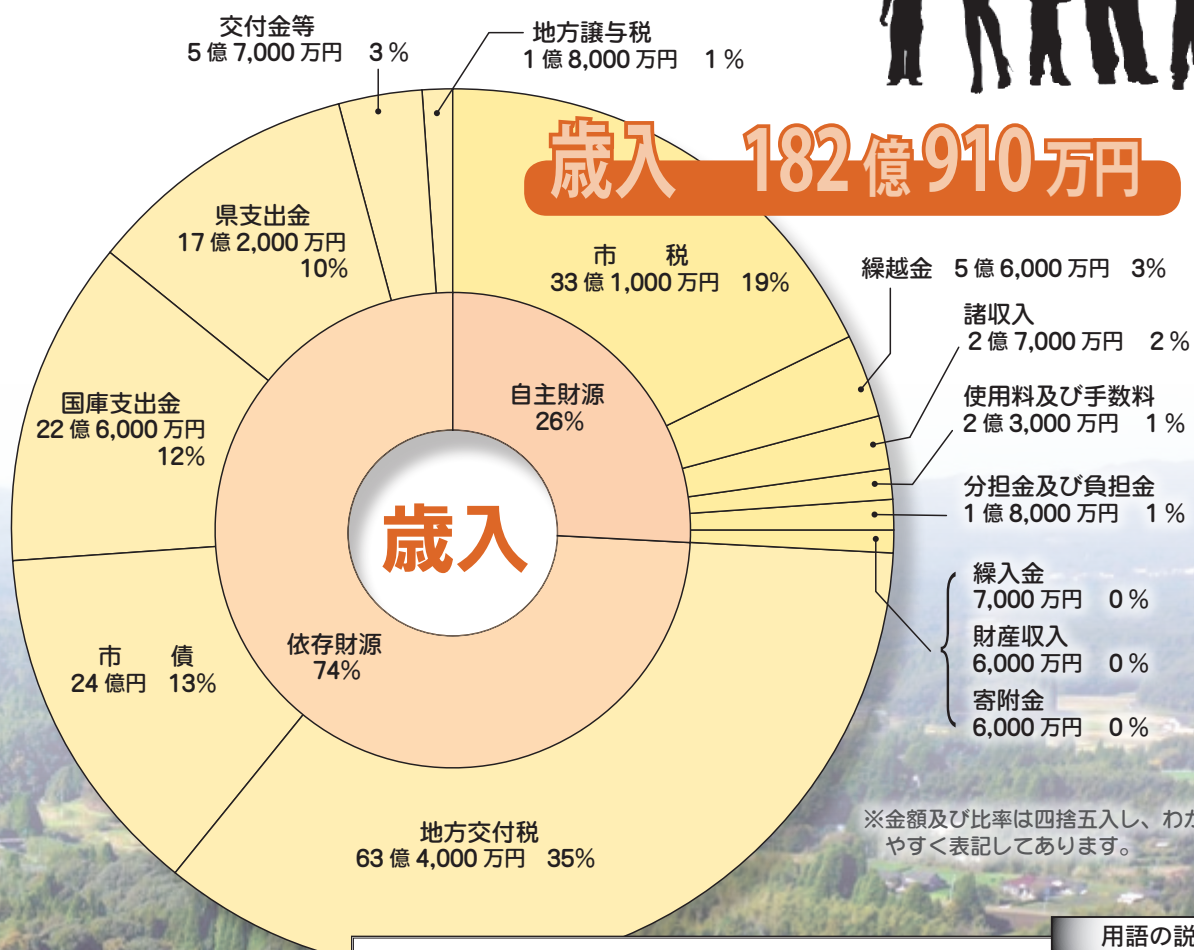


平成 27 年度の一般会計決算を、平成 28 年 9 月定例議会に提出しました。

一般会計の決算の規模は、歳入 182 億 910 万円、歳出 176 億 8,034 万円となっています。歳入と歳出の差し引き額は、5 億 2,876 万円です。これには、翌年度に繰り越すべき財源の 1 億 1,629 万円が含まれていますので、これを除いた実質収支は、4 億 1,247 万円となります。

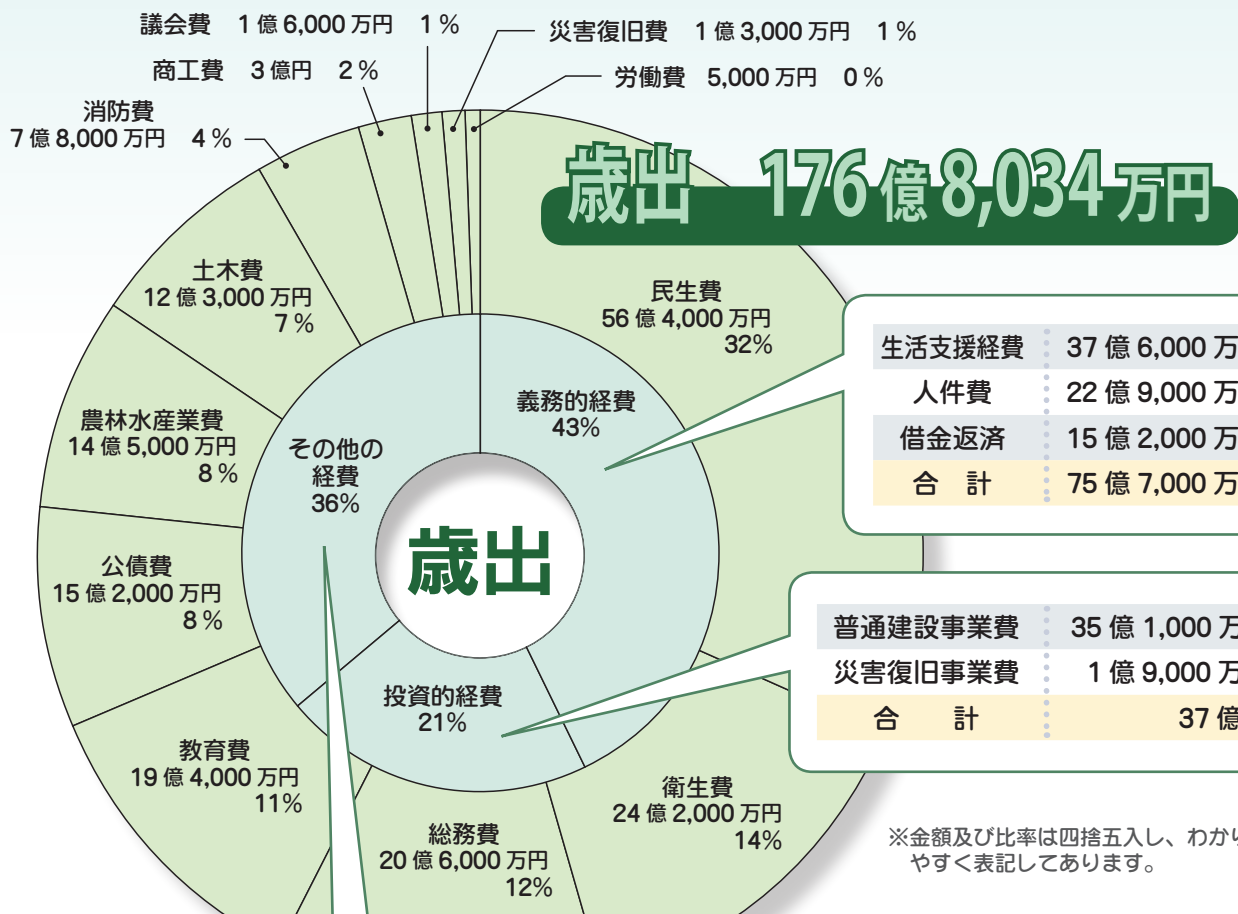
伊佐市の 財政状況

平成 27 年度決算 一般会計



用語の説明

- 自主財源** 地方公共団体が自主的に収入できる財源。
- 依存財源** 国や県から定められた額を交付される財源。
- 地方交付税** 所得税や法人税などの国税の一部を、地方自治体間にある財源の不均衡を調整し、国民が受ける基本的な行政サービスが住む場所によって差のないようにするため、地方公共団体の財政状況に応じて交付されるお金。国から地方への「仕送り」といわれている。
- 市債** 財源不足を補うため、国・県や民間の金融機関から借りるお金。
- 国庫・県支出金** 市が行う特定の事務や事業に対して、必要な費用の財源として国・県から交付されるお金。
- 実質収支** 単年度の収入と支出の差額から、翌年度に繰り越すことが決まっている財源を差し引いたもの。



医療会計等への繰出金	20億8,000万円
物件費	17億2,000万円
一部事務組合（未来館等）	10億7,000万円
補助費等	9億7,000万円
積立金	4億円
維持補修費	1億2,000万円
出資金・貸付金	5,000万円
合計	64億1,000万円

用語の説明

- 義務的経費** 市の借金や人件費・扶助費（生活支援経費）など、支出しなければならない経費。
- 投資的経費** 道路建設などのように、社会資本の形成に向けられる経費。
- 公債費** これまで借り入れた市債などの返済に係る経費（借金返済）。

市民一人あたり（総額：646,236円）のサービス内訳

基準 H 28.03.31 時点の27,359人で算定

民生費 206,145円	衛生費 88,373円	総務費 75,391円	教育費 70,772円
公債費 55,488円	農林水産業費 52,989円	土木費 45,076円	消防費 28,538円
商工費 11,040円	議会費 5,808円	災害復旧費 4,858円	労働費 1,758円